



関中学校だより

第3号 平成26年6月26日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-ky.ed.jp/>

Respect (リスペクト)

校長 勝亦章行

Respect (リスペクト)という言葉を知っていますか。これは、英語であり、辞書を引けば「尊敬する。大切にすること」という意味です。この Respect (リスペクト)という言葉が、日本においても聞かれることが多くなりました。

東京都立千早高校は、平成16年4月に開校した高校ですが、校歌の中に Respect という言葉が入っています。

また、日本サッカー協会では、「RESPECT PROJECT」という取り組みを行っています。日本サッカー協会のホームページを見ると、『リスペクトとは・・・フェアプレーの原点。ピッチ上の人、それを支える全ての人やものを、互いに「大切に思うこと」と書いてあります。

こんな話を聞いたこともあります。アメリカでの生活経験がある中学3年生が書いた文章があります。その文章の中に、『地元の保育園、幼稚園、小学校の先生方から何度も「Respect others (リスペクト アザーズ)」という言葉を知った。日本語にすれば、「他の人のことを尊重しなさい」というような意味となる。集団生活の中で、誰かが意地悪をした、いじめられたとか、人間関係のトラブルが起こる。そのようなときに、先生たちは「Respect others (リスペクト アザーズ)」と言い、反省を促した。』と書いてありました。

Respect は、英語ですが、現在日本語として使われていると感じます。日本には、「思いやりの精神、思いやる心」という考え方があります。その精神につながると思います。国際化が進む現在、「Respect」は、世界共通の認識の言葉として、これからも使われていくと感じています。

今、FIFA ワールドカップ・ブラジル大会(6/13~7/14)が開催されています。国際サッカー連盟(FIFA)が主催する、ナショナルチームによるサッカーの世界選手権大会。サッカーの大会の最高峰と位置付けられ、オリンピックを凌ぐ世界最大のスポーツイベントです。国別対抗戦であり、選手は、国の代表として参加します。アスリートであり、スポーツマンと言えるでしょう。このスポーツマンという言葉も、日本語ではなく英語です。「Sportsman」です。「スポーツマン」「Sportsman」を国語辞典、オックスフォード英英辞典で調べてみると

スポーツマン：運動をする人。運動選手。運動能力に優れた人。
Sportsman : Good fellow (良い仲間、善人)

かなり意味が違います。この違いを知ったのは、ある研修会で広瀬一郎氏の講演を聞いたからです。広瀬氏は、スポーツマン、スポーツマンシップの本当の意味の重要性を説いている方です。「Sports」は、イギリスに由来し、スポーツが人格形成やジェントルマン(丁寧に教養があり信頼できる人物)育成に重要な教育手段であったことから生まれた言葉のようです。英語の言い回しに次ぎのような言葉があります。

「He is a good sport.」意味は、「彼は、信頼に足る人物だ」
広瀬一郎氏によると・・・

スポーツ = 運動 + ゲーム (運動とスポーツは違う)

ゲームが成立するためには、次の3つが必要である。

ルール 対戦相手 審判
(野球をやるにしてもルールが必要。そして相手チームがいなければゲームはできない。審判がいなければ、勝負がつかない。)

スポーツマンに求められる「スポーツマンシップ」は、このルール、対戦相手、審判を尊重する「心構え」と言えます。ルールを無視する。相手選手に汚いヤジを浴びせる。審判の判断に従わない。これではスポーツは成立しません。スポーツ

6月7月 行事予定

日	曜	予定
4	水	3年区学力調査
10	火	第40回運動会
11	水	P T A本部会 生徒会各種委員会
12	木	第1回校区別協議会(関中にて)
13	金	生徒会中央委員会、心の相談員来校
14	土	土曜授業、第1回進路保護者会
16	月	安全指導(地域班)
18	水	中間考査(美術・3年のみ技術家庭)
19	木	中間考査(国語・理科・音楽)
20	金	中間考査(社会・英語・数学) P T A・Dブロック会、心の相談員来校
23	月	生徒会朝礼、S C来校
25	水	2年職場体験(1日目)区中研優日
26	木	2年職場体験(2日目)給食試食会
27	金	心の相談員来校、P T A運営委員会
30	月	2年情報モラル講習会、S C来校
7月		
1	火	区立学校一斉防災訓令(保護者の引き取り訓練)
2	水	校内研修会
3	木	1年校外学習 2年都学力調査
4	金	心の相談員来校 1年下田臨海学校保護者説明会
7	月	全校朝礼、生徒会各種委員会・中央委員会、S C来校
8	火	2年三者面談始
9	水	全学年三者面談始 1年臨海学校事前健康相談日
12	土	第二土曜授業日 3年卒業生のお話を聞く会
18	金	全校集会

をする資格はありません。

よってスポーツマンは、ただ運動する人でなく、対戦する相手に対して尊重と公正を示すことができる者ということになります。スポーツは勝負をつけるもの。勝者がいれば敗者がいます。敗者になったときの態度が本当の意味のスポーツマンシップがあるのか問われる場になります。

このスポーツマンシップの神髄も、**Respect**（リスペクト）につながります。

Respect others（リスペクト アザーズ）を常日ごろより大切にしてください。関中生にも必要です。

第40回 運動会は、6月10日（火）実施しました。

実施予定日であった6月7日（土）が雨天のため、今年の運動会は、6月10日（火）に実施しました。校庭のコンディションがよくなく、開催時間を1時間遅らせての実施でした。時間調整をする必要があり、トラックを一周する入場行進・選抜ムカデ競走・PTA種目は実施できませんでした。

お陰様で当日は、雨は降らず、天候回復とともに校庭の状態も回復。関中学校四大会事の最初として、最後まで頑張る姿を皆さまに披露することができました。平日開催にもかかわらず、814人（保護者767人、来賓15人、地域32人）の来校がありました。ありがとうございました。



色別に分かれての入場行進



1年学年種目「いかだ流し」



2年学年種目「タイフーン」



関中伝統の全学年で行われた「ムカデ」

学級カラー

組	A組	B組	C組	D組	E組
色	黄	青	赤	緑	橙

成績

		優勝	準優勝	三位
色別		E組	D組	B組
学年	1年	C組	E組	D組
	2年	D組	A組	B組
	3年	E組	B組	A組

ムカデ競走

	1年男子	1年女子	2年男子	2年女子	3年男子	3年女子
優勝	E組	E組	D組	B組	A組	B組
準優勝	A組	C組	E組	E組	B組	D組

3年修学旅行 天候にも恵まれ無事終わる。



奈良斑鳩の里、法隆寺



奈良公園の鹿と遊ぶ



宿舎での狂言鑑賞

5月17日(土)～19日(月)2泊3日、3年生の奈良京都修学旅行が行われました。やや暑かったですが天候にも恵まれ、予定した行程で実施できました。コースの概要は、次の通りです。

1日目	東京駅 (新幹線)	京都駅 (貸し切りバス)	法隆寺・奈良公園班行動
	(貸し切りバス)	宿舎(嵯峨グレースホテル)	
2日目	宿舎	京都市内班行動・体験学習	宿舎
3日目	宿舎	タクシーを使つての京都市内班行動	京都駅 (新幹線) 東京駅

京都市内班行動で訪れた場所

天龍寺・二条城・清水寺・南禅寺・八坂神社・伏見稲荷大社・平等院・養源院・三十三間堂・銀閣寺・金閣寺・東寺・西本願寺・高台寺・京都国立博物館・京都御所・東映大秦映画村・京都タワー・耳塚・化野念仏寺・壬生寺・野宮神社・哲学の道・清水道・体験場所(今井半念珠店、清水焼梅山堂、清水坂ガラス館等)等

自転車安全教室が開催されました。(5月13日)

スクエアード・ストレイト方式による自転車安全教室を、5月13日、関中学校の校庭で行いました。小中学生の交通事故は、自転車にかかわる事故が多い現状があります。自転車による事故は、被害者になる場合だけでなく、加害者になる可能性もあります。「スクエアード・ストレイト」とは、直訳で「恐怖を直視させる」という意味で、受講者に恐れさせることにより社会通念上好ましくない行為をさせないようにする教育手法の一つです。今回は、交通事故を目の前で再現し、事故の衝撃や恐ろしさを体験させるものです。練馬区交通安全課、石神井警察所の主催により行われました。スタントマンによる交通事故の再現は、衝撃的であり、とてもためになった自転車安全教室となりました。



警察署の方の交通ルールの説明



三年に一度の安全教室です。



ダミー人形が、飛ばされる。



スタントマンによる再現事故



内輪差による自転車事故



車が自転車とぶつかった瞬間

生徒会総会 今年度の活動方針決まる。



5月23日(金)本校の体育館で前期生徒総会が開催されました。後藤生徒会長を中心に、スローガンは「革命」生徒会役員会活動として、先代までの活動内容を引き続き継続。各委員会との連携強化・組織の改革。行事革命。傘の貸し出し、号令なしの「礼」の徹底、体育館開放、ベルマーク収集、ペットボトルキャップ改修、あいさつ運動。

また、各学年学級委員会、整美委員会、保健委員会、給食委員会、図書委員会、放送委員会、体育委員会の活動方針、スローガン、活動内容、関中生活向上への道キャンペーンについて、採決の結果、多数の賛成数で可決されました。

ウインドアンサンブル部が「第2回武蔵関ふるさとまつり」に参加しました。

5月25日(日)武蔵関駅北口商店会主催の「第2回武蔵関ふるさとまつり」に、本校のウインドアンサンブル部が出演しました。いつもは駐車場に使っている所に、ミニステージが作られ、そこで、地元の方に演奏しました。ウインドアンサンブル部は、地域で様々な出前演奏会を開いています。



第1回中学校区別協議会を開催しました。(6月12日)



分科会の協議の様子

全ての練馬区内の公立小学校・中学校において、6月12日(木)、第1回中学校区別協議会が開催されました。関中学校校区(関中学校、関町北小学校、石神井台小学校、大泉第二小学校)の学校が集い協議しました。今回は、関中学校を会場に実施しました。

1. 目的

学校、家庭及び地域社会の役割を認識し、小学校と中学校の連続性や系統性のある教育の在り方等について検討する。児童・生徒を心身ともに健やかに育てるために、同じ中学校区にある小・中学校の教員が一堂に会し、小学校と中学校の教育実践を交流するとともに協同の取組を行い、教育活動の充実を図る。

2. 内容 テーマ『「中1ギャップ」を解消するため小中連携を深め、今後の指導に役立てる。』

授業参観 全学年全学級で公開授業を行う。
協議会 4つの分科会ごとに協議を行う。

3. 各協議会内容

	分科会テーマ
第1分科会	新中学1年生分科会 関中学校に入学した新1年生の入学後の様子を授業参観を通して、小学校の先生方に参観してもらい協議し、これからの指導に役立てる。中1ギャップの解消を図る。
第2分科会	教科分科会(国語、算数・数学、外国語活動・英語) 小学校と中学校の学習指導上の課題や指導法について情報交換し、連携を深める。3教科に注目し学習面での中1ギャップの解消を図る手立てについて検討する。
第3分科会	小・中交流分科会 小学校と中学校の諸活動における交流を中心に、情報交換し、連携のあり方について協議する。交流を通して中学校へのギャップの解消を図る手立てについて検討する。
第4分科会	スタンダード分科会 小学校と中学校の「授業や生活のきまり」を中心に、情報交換し、連携を深める。生活面での中1ギャップの解消を図る手立てについて検討する。

